

外科医の仕事には二面性がある。病巣を切除・再建することと術前・術後管理することである。手術はその名の通り「術」であることは明白であるが、周術期管理は「術」なのであろうか？ 拡大切除や腹腔鏡下切除など、華々しい外科医としての醍醐味であるのは格闘技で言えば「立ち技」であらうか。それに比べて地味な印象のある周術期管理は「寝技」だと思ってきた。派手な立ち技も良いが、患者を助けるのは術後管理だと思っており、自分自身は寝技最強をめざして生きてきた。しかし、周到に準備し安全な手術を企画しても、術後合併症を起こし患者を失うことがある。これは何故なのかと自問自答してきた。

2011 年から始動した NCD は多くのことを教えてくれた。若林剛らによる「National Clinical Database (消化器外科領域) Annual Report 2014」(日消外会誌 48: 1032-1044, 2015)を見ると、2011 年 1 月 1 日からの 3 年間に、消化器外科専門医 115 術式の実施総数は 1,494,934 例であった。術後 30 日死亡率は 1.5% (0.4~4.5%), 手術関連死亡率は 2.8% (0.9~7.4%) であった。手術関連死亡の実数は 42,048 人であり、実に年間 1 万 4 千人が死亡している計算になる。交通事故の死亡者数が年間約 7,000 人であるから、その約 2 倍の患者が手術によって命を落としている。これは一体何に起因するのだろうか？「手術適応の誤り」「手術手技の未熟」「術後管理が不適切」だけで説明がつくのだろうか？

30 年以上術後管理に携わってきた一外科医としての印象だが、どうしても理解不能な術後経過で亡くなる方を経験する。このような患者には本当は手術をすべきではなかったのかもしれない。そのヒントとなるのが SNPs の存在だろう。広島大学の大段教授らは、移植症例の免疫グロブリンの Fc-γ レセプターの遺伝子多形によって術後生存率が大きく異なることを報告している (Shimizu S, Ohdan H, et al: Am J Transplant 16: 625-633, 2013)。このような侵襲・感染に関する未知の SNPs は、ほかに多く存在するのであろう。近未来は、手術前に侵襲関連 SNPs セットを調べ、適切な治療方針を選ぶことが期待される。そうすれば手術関連死亡率は半減し、死亡率も 1% 程度になるのではないだろうか？ 自分は、これからも最強の周術期管理「術」をめざして研鑽を積み、絶対に負けない寝技を開発したいと思っている。そしてそれを次世代に伝えることこそが、自分の使命だと思っている。
(遠藤 格)

臨床外科 (第 72 巻 第 6 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 鶴淵・川村・水野・安部

2017 年 6 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

(1 部) 定価: 本体 2,700 円 + 税

2017 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担)	
冊子版/通常	39,840 円 + 税
冊子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
電子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
冊子 + 電子版/個人特別割引	41,720 円 + 税

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

*「臨床外科」は株式会社医学書院の登録商標です。